

令和3年 秋期金沢中部地区推進連絡会

1 日時	令和3年10月26日(火)	18:00~19:30	
2 場所	いきいきセンター2階		
3 参加者	(地域側)自治会等地域団体関係	22名	
	(支援チーム、その他行政側)		
	区役所	8名	
	区社会福祉協議会	3名	
	地域ケアプラザ	4名	計 37名

4 内容要旨

(1) 開会あいさつ

金沢中部地区連合町内会・金沢中部地区社会福祉協議会会長

- ・ 各行事について自粛・制限されている中、第3期地域福祉保健計画のテーマである「出会い・ふれあい・支えあい、安心安全に暮らせるまち」に沿って4部会中心に進めることができた。
- ・ 顔の見える関係づくりの重要さがわかった。
- ・ 第4期地域福祉保健計画は、これから5年間、自治会町内会と社協等が一丸となって行動するための指針になるもの。実施にあたり、貴重な意見をいただければと思う。

(2) 区長あいさつ 金沢区長

- ・ 各行事が中止・制限される中、中部地区は工夫を凝らして活動されているように思う。
- ・ コロナ感染者数は減ってきているが、これからの季節は、インフルエンザ等の感染症も流行する季節なので、今後も引き続き、感染症対策を講じたうえでつながり作りに取り組んでいただきたい。

- #### (3) 出席者紹介
- ・ 地域支援チーム（地区支援チームリーダーから紹介）
 - ・ 地域参加者（地区社会福祉協議会事務局長から紹介）

(4) 第4期金沢区地域福祉保健計画（金沢ささえあいプラン）区域計画（金沢区福祉保健課事業企画担当係長）

(5) 第4期金沢区地域福祉保健計画地区別計画

◎ 策定までの経緯・内容説明（地区社会福祉協議会事務局長）

① 取り組み方

- ・ 第3期から第4期へ、中部地区ならではの特徴、新しい生活様式を意識した。
- ・ 令和2年度地区社協アンケートを実施したり、地区推進会議にて質問票にて意見を集約したり、コロナ禍でも工夫しながら歩みを止めず取り組んできた。

② 経緯・根拠

情報1) 区計画 第4期金沢区地域福祉保健計画、
情報2) 第3期金沢中部地区の地区別計画
情報3) 日頃の地域活動での振り返り
などを踏まえて第4期の地区別計画の案を作成した。

③ 目標の説明

出会い・ふれあい・支えあい～誰もが安全・安心に暮らせるまち～

1:見守り・助け合う、安全安心のまちづくり 推進の柱 1・2

そもそもある友好的住民の交流に加え、様々な住民に向けた

多様な見守り、助け合いが定着した安全安心のまちづくりをめざす

2：出会いときっかけで、交流する 地域づくり 推進の柱 1・2・3

誰でも気軽に参加できる様々な地域の活動を提供し、

多くの住民が交流する機会がある地域にしていく

3：ふれあい・つながる、支えあいの 仲間づくり 推進の柱 2・3

地域の中に開かれた場でともにふれあい、それぞれにできることに取り組み、

活動を通して主体的につながることで 支えあう仲間をつくっていく

4：情報を共有・発信し、人を育む 仕組みづくり 推進の柱 1・2

地域情報等を提供し、地域で活躍したい人材を育み支援する仕組みを作っていく

そのために、情報共有のあり方や、地域住民に有用となるルールを整備していく

④ 「策定・振り返りシート」の紹介

- ・地区別計画の項目ごとに取組内容の詳細について説明

◎ 事例紹介（各部会）

① 住民の生活を見守る取組

○ ぼたんちゃんホルダー（地区社会福祉協議会会長）

- ・ 港南区のひまわりホルダーを参考にした。認知症の方が外出時に現在地がわからなくなり地域で騒ぎになったり、高齢者が外出先で体調を崩したりした際の身元確認に繋がる。
- ・ 個人情報泥亀ケアプラザに登録しておき、IDで特定することができる。ホルダーに、泥亀ケアプラザの連絡先とIDが記載してある。
- ・ 登録料150円は町内会で負担して、65歳以上を対象に普及を進めている。

○ ふれあい会館清掃活動（地区社会福祉協議会事務局長）

- ・ 泥亀ケアプラザや資源循環局の協力を得て、ふれあい会館の清掃をした。

○ まちきれい（西柴町内会長）

- ・ 毎年10月第2土曜に清掃活動している。
- ・ 手袋を全世帯配付し、誰もが参加できる。町内会デビューの機会や顔つなぎの機会にしている。
- ・ 目に見えて結果がわかるので達成感を感じやすい。これからも気軽に参加してほしい。

② 多世代と交流する取組

○ みかん狩り（異世代交流部会部会長）

- ・ 感染症対策をしつつ、11/14（日）小柴で開催予定。
- ・ 金沢中部地区に住んでよかったと思ってもらえる行事をしたいと思っている。特に子どもたちが喜ぶ行事をしたいと思っている。それが多世代交流にもつながる。
- ・ 地域にも楽しみにしてくれている方がいる。

③ 子育てを支援する取組

○ 親子の居場所「ふらっと」（子育て支援部会長）

- ・ 定期的開催できる場所がなかったが、ふれあい会館を使えることになって、とことことコラボして念願の「子育て居場所」を作ることができた。チャイマムさんの活動を参考にしている。
- ・ 誰でも来れる居場所を持っていて、定期的に活動できる。
- ・ 人が動くともちが動くと感じている。子育ての拠点から地域が発展して欲しい。
- ・ 育った子どもが次の中部地区を担っていくサイクルができれば誇らしい。

④ 主体的に活動する担い手を増やす取組

○ 地域内グループ活動「手芸部」（高齢者福祉部会長）

- ・ 町内会館で月2回実施している。12~13人メンバーがいる。
- ・ マルシェに出品するという目的ができてモチベーションが上がっている。今後、より参加者が増えてほしい。

⑤ 情報共有の仕組みを整える取組

○ 広報紙を使って意見・情報・人材の募集（広報部会長）

- ・ 8名体制で10月と2月の年二回発行している。
- ・ イベントについて、結果だけでなく予告もできるようになった。今後、意見を取り入れることや人材募集もしたいと考えている。少しでも良いものを作っていきたい。

(6) 意見交換

○ ハマロード（掃除）（谷津町内会長）

- ・ 月1回、第1土曜日に8時から4班に分かれて実施している。12年目になり、今度表彰を受ける。
- ・ 各チーム14~15人で構成し、台風シーズンに向けて排水溝を見て回る。側溝を草木が埋めている状況が多いため、土木に訴えて除去した。

○ 谷津公園の花（谷津町内会長）

- ・ 楽しみ会（老人会）が、毎日当番制で水やりや雑草取りをしている。
- ・ ユリ等を盗まれることがあるため、花一つ一つに防止策（盗らないよう表示）をしている。
- ・ 八景小学校の課外活動で年に2回、生徒と一緒に花植えをしている。

○ 町内会館敷地内の清掃活動（東谷津町内会長）

- ・ 会館の敷地に雑草が多く、伸びたら切るということを繰り返していた。シニアクラブ中心に花壇を造ってもらい見栄えが良くなった。今後、清掃活動を意識していきたい。

○ 金沢中部環境事業推進委員による清掃活動（ハイテラス金沢文庫自治会長）

- ・ 金沢中部環境事業推進委員として、資源循環局金沢事務所と協力し、文庫駅周辺の清掃活動を2~3週間前に実施した。その際は、お揃いのビブスを着用して活動した。

○ 団地の年当番の人による自主的な清掃活動（片吹団地自治会長）

- ・ 自治会として全員参加で春秋に大掃除を実施している。それ以外に団地の中を31人の年当番の人が、二人1組で毎月（年間10回）公共の場の清掃をしてくれている。

○ パトロール活動と民生委員について（泥亀町内会長）

- ・ 年に1回、学校通り周辺や宮川周辺を老人会と一緒に清掃している。また、町内パトロールを冬に月2回20時から実施していた。コロナ禍で休止中だが、今年は実施したい。
- ・ 民生委員に関して、来年12月が一斉改選だが、担い手がない。若い世代を推薦してもらいたい。横浜市として、定年制の問題及びOB支援制について対応をお願いしたい。

○ ウェルカムプロムナード（地区社会福祉協議会事務局長）

- ・ 駅からいきいきセンターまでの道を、ウェルカムプロムナードにしたいと思っている。

○ 作品展（片吹団地自治会）

- ・ ボランティア片吹の方々が、絵や写真等を出展していた。今はコロナ禍で活動休止中。

○ 西柴マルシェ（西柴町内会）

- ・ マルシェとふれカツに2回参加した。みんな楽しんでいた。
- ・ マルシェの商品作りへの参加希望者が多く、4、5人想定のところ11人集まった。手芸をしたい人がたくさんいると感じた。今後は、東谷津手芸の会ができると思っている。

(7) 閉会あいさつ

金沢中部地区社会福祉協議会副会長

- 今日の討議を第4期に活かし、活発な中部地区社会福祉協議会の活動になるようお願いしたい。
- 地区社協の活動内容に対する認知が少ない。もっと周知し、関心を持ってもらう活動が重要だと思う。
- まだコロナ禍は続いているので、感染症対策を忘れずに過ごしてほしい。